

木材、布、紙などを簡単に難燃化し、火災リスクを減少！



LEPSの防災・難燃剤はセルローズ系素材(木材、天然繊維、パルプ系紙、布等)用に開発された非ハロゲン系の水溶性防災性・難燃性機能付与剤です。
(財)日本防災協会による「綿布の防災薬剤」として適合・登録されている安心で安全な商品です。

可燃物の防災処理システムの特長

■優れた防災性・難燃性

材料内部に浸透し、炭化脱水作用を優先・促進させ、可燃性ガスの発生を抑制し、繊維の燃焼速度を遅延させるので高い防災・難燃効果が得られます。

■高い安全性

水溶性で毒性のない組成のため、安全性も高く、有害な揮発成分も使用していないので、処理作業の安全性及び乾燥後の安全性を発揮します。

■簡単施工

スプレー、刷毛、ローラーなどで素材表面を被服または素材内部に含浸させ、乾燥するだけの簡単施工です。

■4種類の防災手法

①含浸・被覆法 ②希釈反応抑制法 ③吸熱・断熱法 ④化学反応の4つの防災手法によりお客様の大事な家族と財産をしっかりガードします。

可燃物の防災処理

素材や用途により使い分けることができます。

	種類	適用素材	使用用途
1	塗布により内部・表面に層を形成	天然繊維・パルプ系紙	天幕、内装木部、寝具類、壁紙、障子、襖、天井板、押入及びクローゼットの内部、ルーフデッキ、カーテン、寝具類、リネン、紙加工、エプロンおよび台所使用布製品など
2	含浸により内部に防災層を形成	木質系素材	木材合板加工、小幅板・ボード・パネル・パーティション・ベニヤ・ドア・サッシ・簾・ブラインドなどの建築材料、舞台用道具類、神社仏閣、幼稚園、老人ホームなど

【防災化の手法】

含浸・被覆法

燃えやすい材料の内部に含浸させたり、表面に被覆することにより断熱効果を与えます。

希釈・反応抑制法

防災処理を施すことにより、可燃性ガスが発生し、燃えやすい材料が燃えにくくなります。

吸熱・断熱法

炎による燃焼熱を奪い、燃焼の継続を停止します。

化学反応法

LEPSの防災剤が炎の熱により化学反応を起こし、水と炭素になり、消化作用の働きをします。

※(財)日本建築防災協会の認定にはサンプル提出し、認定を受ける必要があります。

展示構成ホームページ >>> <http://www.tenjikousei.co.jp>

お問い合わせは

株式会社 展示構成

〒120-0002 東京都足立区中川 4-10-3

TEL 03-3605-5289 FAX 03-3605-5278

E-mail info@tenjikousei.co.jp

LEPSのサービス

●生活及び福祉関連環境保全システム

私たちは、お客様のニーズに合わせ、数種類の工法から施工ができます。お気軽にお問い合わせください。